



平成 29 年 9 月期



※ 平成 29 年 9 月末現在を基準に、内容を記載しております。

目 次 (contents)

1.ご あ い さ つ

2.経 営 方 針

3.主要な業務内容

4.直近の事業年度における主要な業務状況

5.自己資本比率の状況

6.金融再生法開示債権の状況

7.有価証券時価情報

8.地域貢献情報

1.ごあいさつ

日頃、皆様には本組合の事業運営に特段のご支援、ご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

本年も、経営内容を公開し、組合員、利用者の皆様に当 JA を安心してご利用いただけるよう、ミニ・ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



わが国の経済は、超低金利政策にも関わらずデフレ脱却が遅々として進んでおらず、農業を取り巻く情勢は、高水準の農産物自由化を求める圧力や、人口減少、超高齢社会の到来、農業生産基盤の急速な脆弱化など農業をめぐる厳しい環境に変わりはありません。

このように JA をめぐる環境は厳しいものがありますが、当 JA においては、

- ①販売力強化で地域農業を振興し、農業者の所得増大・農業生産の拡大
- ②教育文化活動の実践強化と豊かな地域作り
- ③組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開
- ④健全経営に向けた経営の効率化

の 4 点を基本目標とし、経営の健全性・信頼性の確保、競争力の向上を図り、地域から選ばれる JA を目指してまいりたいと考えております。

平成 29 年度は第六次中期経営計画の達成と第六次仙南地域農業振興計画（第六次営農 V プラン）を確実に実践し、組合員、地域住民の皆様から信頼され期待される JA を目指していきますので、より一層の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 11 月

みやぎ仙南農業協同組合

代表理事組合長 浅野 清

2.経営方針

地域密着型金融推進計画

1.経営理念

当JAは、平成10年に組合員の経済的・社会的地位の向上を図ることを第一義的な使命とし管内7地区の大合併により、みやぎ山南農業協同組合として設立されました。

以来、農業金融機関および地域金融機関として農業およびその関連産業をはじめとする地域産業の振興、ならびに地域社会の活性化・発展等に寄与するという使命を持ち、協同組織の地元金融機関として経営を続けております。

2.経営ビジョン

当JAは、経営理念の実現のため、以下の基本方針の下、日々活動しております。

- (1) 組合員の経済的・社会的地位の向上
- (2) 地域社会の活性化・発展等に寄与する取組等地域に根ざした活動の展開
- (3) 利用者の利便性および満足度の向上
- (4) 金融機関としての公共性と社会的責任の認識

当JAの強みは、地域に根ざした活動を長年こわたり行ってきたことです。IT化が進む現在、機械化による効率化を求めつつ、組合員とは常に顔と顔を突き合わせた情報に基づくお互いに謙感のある関係を目指しております。

当JAによる地域社会・経済への貢献は、組合員第一主義を徹底し、地域へのサービスを円滑に行い、組合員と当JAが共に発展することと考えております。

3.取組み方針

- (1) 農業再生・組合員の生活の円滑化
- (2) 経営力の強化
- (3) 地域の利用者の利便性向上

4.具体的な推進計画

当JAは、管内の組合員を基本構成員とし、組合員の経済的・社会的地位の向上を図ることを第一義的な使命として担うとともに、農業金融機関および地域金融機関として農業およびその関連産業をはじめとする地域産業の振興、ならびに地域社会の活性化・発展等に寄与するという使命を併せ持っています。これらの使命を遂行するためには、組合員等利用者の金融ニーズに応えるとともに組合経営の安定性・健全性・透明性を維持しつつ、適切な与信を通じて資金を地域社会へ還元することが重要です。この方針は当組合の使命とそれを遂行する手段としての与信の重要性を踏まえ、かつ金融機関としての公共性と社会的責任を強く認識し、貸出をはじめ全ての与信に関する基本的事項を定め貢献してまいります。

◎アクションプログラムに基づく具体的推進計画

- (1) 顧客基盤の拡大と本・支店機能の再構築
- (2) 融資体制・提案機能の強化
- (3) リスク管理と不良債権処理の促進
- (4) コンプライアンスの徹底と利用者対応力の強化

3.主要な業務内容

(単位：百万円、口)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収益	8,970	9,288	8,872	8,644	7,882
信用事業収益	1,446	1,381	1,354	1,341	1,215
共済事業収益	1,232	1,201	1,174	1,175	1,158
農業関連事業収益	6,127	6,473	6,128	5,834	5,288
その他事業収益	165	231	217	294	219
経常利益	162	203	116	184	152
当期剰余金	60	101	21	123	102
当期末処分剰余金	148	275	64	169	238
出資金	4,308	4,273	4,230	4,167	4,112
出資口数	4,308,175	4,273,276	4,230,215	4,167,219	4,112,616
純資産額	7,283	7,281	7,230	7,254	7,263
総資産額	129,162	126,855	125,792	126,555	126,055
貯金等残高	115,280	113,224	112,636	113,152	112,994
貸出金残高	33,545	33,642	33,847	35,808	35,595
有価証券残高	8,773	7,770	6,866	6,366	5,952
単体自己資本比率	13.18%	13.46%	13.07%	12.72%	11.48%
剰余金配当金額	21	20	20	20	19
・出資配当の金額	21	20	20	20	19
・事業利用分量配当の額	—	—	—	—	—
・職員数	409人	363人	346人	334人	314人

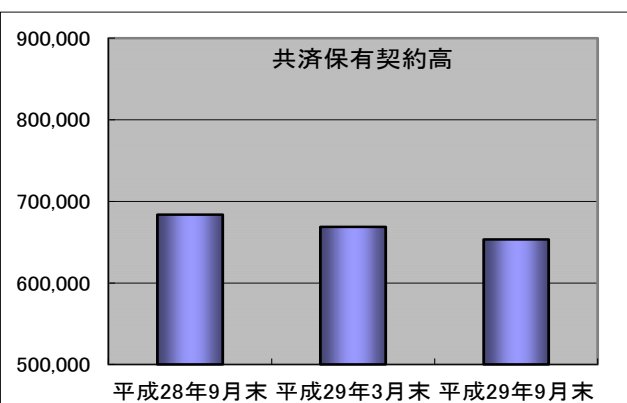
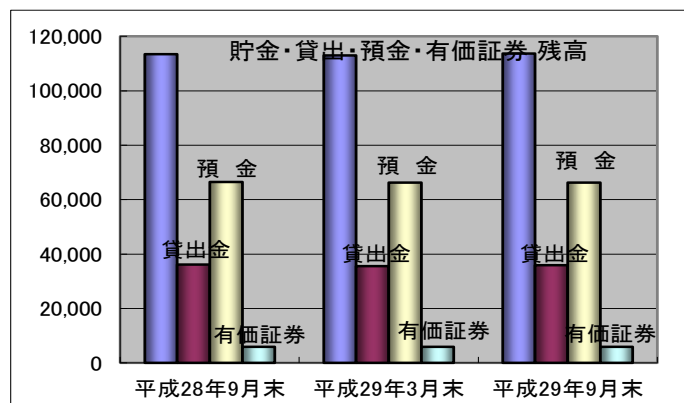
(注)

1. 経常収益は、各事業収益の合計額を表示しております。
2. 当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。
3. 信託業務の取り扱いは行っておりません。

4.直近の事業年度における主要な業務状況

(単位：百万円)

	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
貯金(残高)	113,464	112,994	113,666
貸出金(残高)	36,102	35,595	35,872
預金(残高)	66,474	66,258	66,234
有価証券(残高)	5,965	5,953	5,951
共済保有契約高	683,854	668,832	653,273



5.自己資本比率の状況

単体自己資本比率（国内基準適用）

	平成29年3月末	平成29年9月末
自己資本比率	11.48%	11.58%

（注） 9月末の単体自己資本比率（推計値）は、平成29年9月末の自己資本額を算出し、平成29年3月末の信用リスク・アセット額、オペレーショナル・リスク相当額を基準に算出しています。

6.金融再生法開示債権の状況

当 JA では、金融再生法に基づき、貸出金を貸出先の財政状態や経営成績等をもとに区分する、資産の自己査定を行っております。

その結果は、下記の表の通りです。また、当 JA では、貸倒損失に備えた貸倒引当金により保全を行い、貸出債権の健全性の向上に努めています。

金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債 権 区 分	平成29年3月末	平成29年9月末	増減
① 破産更正債権およびこれらに 準ずる債権	437	461	24
② 危険債権	7	102	95
③ 要管理債権	24	4	△ 20
④ 正常債権	35,151	35,341	190
⑤ 合 計	35,619	35,908	289
不良債権比率	1.314%	1.579%	0.265%

※ 不良債権比率 = (①+②+③) ÷ ⑤

7.有価証券の時価情報

（単位：百万円）

保有区分	平成29年3月末			平成29年9月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	5,949	6,675	726	5,949	6,662	713
その他	4	4	0	4	4	0
合 計	5,953	6,679	726	5,953	6,666	713

（注）

- 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づいております。
- 取得価額は、償却原価法適用前、減損処理前のものです。

8.地域貢献情報

当JAの基本理念である「食と農を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、夢と笑顔のあふれる地域づくりに貢献します」というコンセプトのもと、地域農業の振興、自然環境保全、安全な食料生産と供給により、安心して暮らせる豊かな地域社会の創造に貢献する活動を展開しております。

また、JAでは総合事業を展開する強みを活かして金融・共済機能サービスを提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献にも努めております。

■ 地域からの資金調達状況

(1) 貯金の残高

組合員をはじめ利用者の皆様や、事業主の皆様からの貯金をお預かりしている残高は、以下の通りです。

平成29年9月末現在（単位：百万円、未満切捨）

<種 別>	<残 高>
普通貯金	52,850
定期貯金	58,963
定期積金	1,853
合 計	113,666

(2) 貯金商品

貯金商品は、当座性貯金（総合・普通・当座等）から定期性貯金（定期貯金・定期積金）など各種目的・期間にあわせてご利用いただいております。

また各種キャンペーンを展開し、地域の金融機関として事業展開を行っております。

■ 地域への資金供給状況

(1) 貸出金の残高

組合員をはじめ、地域住民の皆様に必要な資金の貸出をしております。また、農業関連産業等への貸出により、地域経済の発展・向上に貢献しております。

平成29年9月末現在（単位：百万円、未満切捨）

<区 分>	<残 高>
組 合 員	28,983
地方公共団体等	4,714
そ の 他	2,175
合 計	35,872

(2) 融資商品

融資の商品として、住宅ローン・マイカーローン・教育ローン等の各種ローンを取り揃えております。

農業関連経営に必要な資金として、集落営農組織や担い手を対象

に、スーパーアグリサポート資金や、農業者を対象としたアグリマイティ資金をご提供しております。さらに、制度資金等各種取り揃えております。

■ 農業の振興と多面的機能

農業は、単に食料を生産するだけでなく、水田や畑の保水能力により水害を防止したり、多様な生態系を維持したりと、環境保全の役割も担っています。

当JAでは、このような多面的な機能を持った農業を維持発展させ、人々に安全・安心、そして新鮮な食料を提供するとともに、環境問題にも取り組んでおります。

- ・ 農業用使用済みプラスチックの適正処理推進
- ・ 農畜産物の安全・安心システム(トレーサビリティ)の徹底
- ・ こだわり米等の環境保全米の拡大推進
- ・ ポジティブリスト制への対応強化
- ・ 農業生産工程管理（GAP）の推進

■ 地域との交流と次世代への食育の取り組み

当JAでは、組合員・地域の皆さまに、食の恵みに感謝しながら地元の安全・安心な農畜産物に理解を深めてもらおうと、10月下旬から11月中旬に農家組合・生産組織等と一体となり「JAみやぎ仙南フェスティバル」を開催しています。各地区とも、地元の農畜産物の即売会や品評会、生活改善展、小・中学校児童生徒作品展など、多彩なイベントを行っております。

また地域との交流と次世代への食育の取組みとして以下の活動を行っております。

- ・ JA祭(JAフェスティバル)など各種イベントを通じた交流活動
- ・ 食育セミナーや文化教室における各種講座の開催
- ・ 小・中学校等での農業体験活動の実施
- ・ JA広報誌(名称:れいんぼー)などの発行による情報の提供
- ・ 田んぼの生き物調査の取組み ・少年野球大会 ・ゲートボール大会

JA青年部・女性部による食農教育への取組みとして、子供たちに作物を育てる楽しさ、働くことの楽しさを知ってもらおうと、地元の小・中学校の児童に、苗植えから生育の状況、収穫までの指導を行い、体験を通じて食と農の重要性について、理解を深めてもらう活動を展開しております。



(H29/9/29 稲の結び方を教える部員と生徒)

収穫したもち米は、10月28日に川崎町で開かれた「JAみやぎ仙南フェスティバル」で生徒が売り子となり、元気に販売しました。

inかわさき」



(米検査について説明するJA職員とカレッジ生徒)

10月5日、今年4回目の女性大学「カレッジ輝楽里」にて角田農業倉庫の米検査を見学し、生徒は「どんな工程、検査を経て食卓に並ぶのかを知ることができてとても勉強になった」と話していました。

JAみやぎ仙南のコンセプト（基本理念）

「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、
夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。

《JAみやぎ仙南のスローガン》
かたちにしよう、みんなの夢を
～Create Your Future～

存在意義

農業を通じて、生命・環境・文化を守ります

経営姿勢

～組合員に対しての経営のあり方～
夢と活力ある地域農業の振興につとめます
～社会（地域住民・生活者）に対しての経営のあり方～
安全・安心な「食」ととどけ、豊かで美しい社会をつくります

行動指針

～組合員に対しての行動指針～
熱意をもって、よりよいサービスを行います
～職員同志の行動指針～
自ら変化を起こし、チャレンジ精神をもって行動します
～社会（地域住民・生活者）に対しての行動指針～
未来をみつめ、多様に行動します



JAみやぎ仙南のもつ「地球・自然・人間マインドウェーブ」のデザインコンセプト。

そして、キーワードとなる“親しみやすさ・行動的な・若々しい”を軸に地域性をもたせデザインしたシンボルマークです。

デザインは農業の源である地球を円に例え、筆の流れは澄みきった水の流れで仙南「S」から表現しています。また、蔵王の山なみを表現している形はみやぎの「M」で地域性とJAみやぎ仙南の大きさを表現しています。

JAみやぎ仙南にかかわるすべての人々が、心のやすらぎ・やさしさ・新鮮さを提供し、親しみのあるJAに発展していく願いが込められています。

また、21世紀型JAの姿を社会に発信していく意志をも表現しています。

メインカラーのJAみやぎ仙南の緑（仙南グリーン）は地球の緑色であり、未来への成長と自然環境を深く愛する願いを込めています。サブカラーのJAみやぎ仙南の黄（仙南イエロー）は自然からの恵みの黄色であり、自然に対する感謝の想いを表現しています。



平成29年9月30日現在

管理本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1111(代)
金融共済事業本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1288
営農経済事業本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1870
本店営業課	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1288
柴田地区事業本部	柴田郡柴田町槻木上町二丁目1-15	0224-56-1212
槻木支店	柴田郡柴田町槻木上町二丁目1-15	0224-56-1211
大河原支店	柴田郡大河原町字中島町3-7	0224-53-1560
村田地区事業本部	柴田郡村田町大字村田字押切107	0224-83-2291
村田支店	柴田郡村田町大字村田字押切107	0224-83-2221
川崎地区事業本部	柴田郡川崎町大字前川字裏丁181	0224-84-2222
川崎支店	柴田郡川崎町大字前川字裏丁181	0224-84-2220
蔵王地区事業本部	刈田郡蔵王町大字円田字白山前8	0224-33-2115
蔵王支店	刈田郡蔵王町大字円田字西浦上1-1	0224-33-2111
白石地区事業本部	白石市福岡長袋字八斗蒔1	0224-25-3531
白石支店	白石市大平中目字八ツ森脇31	0224-25-1487
福岡支店	白石市福岡長袋字山の下37	0224-26-3114
七ヶ宿支店	刈田郡七ヶ宿町字関134	0224-37-2101
角田地区事業本部	角田市角田字町29	0224-63-3132
角田支店	角田市角田字町29	0224-63-3140
丸森地区事業本部	伊具郡丸森町字除25-1	0224-72-2270
丸森支店	伊具郡丸森町字除25-1	0224-72-1204

JAみやぎ仙南 ディスクロージャー誌

発行日 平成29年11月30日

編集・発行 みやぎ仙南農業協同組合 総務部経営企画課

電話 0224-55-1905 FAX 0224-55-1115

<http://www.ja-miyagisennan.jp>